

兎 の 脂 肪 肉 腫 の 1 例

若 松 勲[†]

群馬県 開業 (ペンギンペットクリニック：〒379-2235 伊勢崎市三室町5330)

(2008年1月23日受付・2008年11月21日受理)

要 約

7歳、雄の雑種兎が左上腕に生じた大きな腫瘤と跛行を主訴に来院した。疼痛の除去と運動障害の改善を目的として炭酸ガスレーザーを用いて断脚した。腫瘤を検査したところ、脂肪肉腫と診断された。骨への浸潤はなく、同時に摘出したリンパ節に腫瘍病変は認められなかった。術後の経過は順調で元気食欲もあり、QOLの改善が得られた。兎での炭酸ガスレーザーの使用は、術中・術後の疼痛やストレスを軽減させるものと考えられた。術後1年を経過したが再発は認められず、片前肢のみでもよく順応した。——キーワード：炭酸ガスレーザー、脂肪肉腫、兎。

----- 日獣会誌 62, 476～478 (2009)

[†] 連絡責任者：若松 勲 (ペンギンペットクリニック)

〒379-2235 伊勢崎市三室町5330 ☎・FAX0270-63-0303 E-mail : wakawaka417@ybb.ne.jp